



夕鶴の里資料館報

平成30年10月20日

第 94号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800

## 民話まつり

十月十四日(日)に第十九回夕鶴の里「民話まつり」が開催されました。

今年度は、「民話会ゆうづる」より、齋藤和子、白岩けい子、島貫貞子さん 三名の語り部が出演。その後、新庄市より伝承の語り手である「渡部豊子」氏をゲストにお招きして、盛大に開催されました。

渡部さんは、幼少時代に聞いた祖母の話を覚えていて、それは、今でも自分の教えとなっているのと話されました。



## 子どもまつり

九月三十日(日)に夕鶴の里語り部ホールにて、夕鶴の里友の会主催による「第二十回 子どもまつり」が開催されました。

今年も、「東北文教大学児童文化部」をゲストにお迎えしての開催となりました。友の会の役員による寸劇「カラス」が終わると、司会者と会場からの「もういいかい?」の問いに「もういいよ!」と返事が返ってきて公演がスタートしました。

大型紙芝居「舌切雀」からスタートしてボードビル、人形劇、最後はみんな立って輪になってダンスをしました!

人形劇では怖いオオカミのシーンでキャーっていう幼児のかわいい声も聞こえました。最後は大人も子供も、カラフルなパネルの動きや可愛らしい人形達、そして物語に引き込まれていき、楽しい時間をすごしました。



まだ、幼くて物語は理解できなくても、ボードビルや人形劇、温かい物語にふれることで心が成長するのだそうです。

今年も、宮内中学校男子バスケット部の3年生も参加してくれて盛り上げてくれました。

文教大学児童文化部の皆さま、参加して下さいました。なさまありがとうございました。

たて糸を結んで  
最後の仕上げ中

完成まで  
もうすぐです



## ～染織り講習会～

紅花染のマフラーが  
完成しました

七月二十一日(土)から四  
回にわたり、開催してきた  
「染織り講習会」が九月二  
十九日(土)で終了しました。  
草木染は、ムラ染めにな  
ってしまいますが紡いで糸  
にするのとグラデーシオンに  
なり、何色かの糸で織って  
いるような仕上がりに  
なりました。  
完成したマフラーは、十  
一月二日(金)から十四日  
(水)まで、夕鶴の里で展  
示します。

シルク100%  
紅花染のマフラー  
完成!  
軽くて暖かい。  
肌触りも良くて  
カンペキ～



## 昔のあそび～押し花でしおりを作ろう～ 9月22日(土)10時～

春から季節の花や葉を押し花  
にして準備してきました。カ  
ラー用紙の上に完成した押し  
花を自由にのせてラミネート  
加工。オリジナルのしおりを  
作りしました。



## 次回の昔のあそび 11月24日(土)10時～押し花でモバイルを作ろう

### 夕鶴の里 特別展 2018

### 九里裁縫女学校 裁縫の学び方展

会 場 夕鶴の里資料館 3階特別展コーナー

期 間 平成30年10月19日～12月28日

開館時間 午前9時～午後4時30分

「九里裁縫女学校」は現在の九里学園高等学校の前身です。今回の特別展では九里裁縫女学校の学生が製作した裁縫資料をご覧いただき、昔の裁縫の学び方や学校に通っていた学生がひたむきに技術を習得する姿を感じていただけたらと思います。



一つ身単衣本重ね

### ～展示の見どころ～

展示資料の多くは「裁縫雛形」と呼ばれる実物の3分の1とい  
う小さなものですが、どの資料も実物と変わらず丁寧に作られ  
ており、当時の学生の裁縫技術の高さを知ることができます。